

学校と地域の連携の在り方について

北九州市立 青葉小学校 校長 鈴木澄男

【学校と地域・保護者との連携】

子どもの健やかな育ちのためには、学校と保護者、地域の方との連携や協力が今ほど求められている時期は無い。

【地域との連携や協力で望むこと】

- 1 地域で生活する子どもも安全安心であってほしい。地域の方（保護者）から子どもたちに声かけや挨拶、注意などふれあいをしていただく気運が盛り上がりありがたい。
 本校でも登下校時の見守り指導を年長者の会や自治会でもしてもらっている。
 また、本校では、4年前から、添付資料1にあるような取組を行っている。
- 2 地域の方（保護者）を含めて、子どもの放課後の過ごし方（子ども達が地域で安全に外遊びが出来る場）を考えていただくとありがたい。
 学校職員の手を借りず、休日や放課後など、運動場で楽しく過ごす場や機会を設ける全市的取組
- 3 各校区で地域の方の学校ボランティアシステムを作っていただくとありがたい。
 例 昔遊び、学習補助、作業、安全・安心、いじめ、英会話、等々
- 4 校区によっては、自治会が複数あり、運動会、敬老会、総会、忘年会、文化祭、地域清掃活動とその都度、管理職の参加が求められている。連携と言う点では逆行するようだが、多忙である。協力要請という形で何とかできないかなと思う。

【保護者との連携、協力で望むこと】

- 1 最近、ほんの一部の保護者苦情だが、自分の子どもの言い分を優先して、学校に訴えると言うことがある。そのような状況下で、教諭の心労も溜り、また、毅然とした指導が出来にくく、子どもの育ちにゆがみがでてきているのが実際である。
 「叱られるのは、あなたが悪いから」という、保護者の我が子を育てる一つの理念がなくなってきたところに大きな問題がある。『自分の子どもをまともに育てたいなら、もう少し先生を信用して』と言いたい。
 そこで、『人の思いや立場が分かる心豊かな子どもの成長を願って 先生を信頼して子どもが育つ』等の保護者キャンペーンも必要な時期にきているのではないかと思う。
 どこの学校現場でも深刻な問題となっている。
- 2 先日、提案した「家庭で取組む 北九州 子育て週間」を再掲したい。家庭が子どもの豊で確かな育ちの源である。基本的な生活習慣、他の心や立場を理解する態度、我慢する力など、家庭生活の場で育まれていく。
 人としての基本的なことを家庭で見つめ、関わり、育んでいくことが大切である。

そこで、「挨拶、早寝、早起き、朝ご飯、ありがとう、ごめんなさい、ことばづかい、家庭学習、外遊び」など、必要な項目を絞って、点検指導していく週間を全市的に設けること提案したい。保護者が動かなくてはならない時期にきている。自分の子どもであり、かけがえのない子どもであり、一生を遅しく豊に幸せに生きて欲しいと一番願っているのだから。学校のことは分からない、学校にお任せでは困る。

【連携や協力の前提として学校に求められていること】

- 1 学校における児童の生活面、心情や態度面、学力面等の実態を明らかにすること
- 2 学校の歴史や伝統及び地域の方や保護者の願いを明らかにすること
- 3 国、県、市の動向を明らかにすること
- 4 学校目標を示し、達成のための具体的方策、結果（成果と課題、改善策）を明らかにすること
- 5 学校教育の年間計画を示すこと
- 6 授業参観、学校開放週間、運動会、学習発表会、懇談会、PTA総会や理事会、学校新聞（学年、学級通信）、地域会議や市民センター主催の各行事への参加等で学校の実際を発信すること
- 7 各学期末に職員の自己評価、児童のアンケート、保護者のアンケートと意見要望をふまえて成果と課題、改善策を示すこと（職員、保護者、学校評議員）
本校の学校評価結果については別添資料2
- 8 以上のことを学校評議員に示し、要望や意見を収集し学校運営に生かすこと（全体会は年2回開催）

【学校運営や学校評価に関して】

- 1 学校の実状、学校目標、その達成のための具体的な方策、子どもの学力、生徒指導、各行事のあり方、教員の資質等、点検評価と改善充実のために学校運営協議会や学校評価委員会を設けることが必要である。
ただ、その構成メンバーをどのような方をお願いするのは大きな問題となる。
また、「あれも、これもが求められている学校現場である」よって、学校現場を終日一週間ぐらい参観していただくことも検討していただきたい。
その意味で、学校を広く開放し、今、学校現場はどうなのか、子ども達の確かな育ちのために何が学校に求められているのか、何をどのように改善、充実しなくてはならないのか、真摯に各会の提言に耳を傾けたい。

平成 16 年 6 月 3 日

保護者 様

北九州市立青葉小学校 PTA 会長 三木 俊彦
校長 鈴木 澄男

青葉小学校校区「ふれあい」推進の協力をお願い

大人が腕章をつけ、声をかけあうことを通して

(まず、PTA から)

初夏の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のことと思います。

さて、5月10日付けで「青葉小学校区『ふれあい』推進の協力お願い」の文書をご家庭に配布しました。おかげさまで、102名の方の協力者があり、現在、校区で黄色い腕章をつけた方を見かけるたびに心強く思う次第です。

そこで、子ども達の安心・安全な校区のために皆様に、再度、協力をお願い文書を配布することにいたしましたのでよろしくお願いいたします。

取組の意義

- (1) 地域の大人が腕章をつけることによって、子どもたちに、地域の大人が見守ってくれるという安心感が生まれる。
- (1) 地域で腕章をつけた方を見かけることにより、不審者に警戒心を与え、不審者が減る。
- (3) 被害にあいそうになった時、子どもが声をかけやすくなり、未然防止につながる。
- (4) 腕章をつけることにより、地域の方々の間に親近感や連帯感が生まれ、挨拶、語り合い、ふれあいの機会となる。
- (5) 安心できる地域、やさしい地域、みんなでつくる地域になって、子どもたちにとって、誇りに思うふるさとづくりへとつながる。

方法

校区内で腕章をつけるようにする。

登下校の見送りや出迎え時 幼稚園や保育所等の送りや迎え時 買い物、散歩
学習参観時、その他、用事で学校を訪ねる時 地域の会合や行事参加時 等
腕章は黄色で、青葉小 PTA と文字がはっています。

キ リ ト リ

児童名 年 組 ()

保護者名 ()

ご協力いただける方は、ご記入のうえ、学校に提出ください。後日、腕章は、お子様を通じてお渡しいたします。

平成19年9月4日

保護者様

北九州市立青葉小学校
校長 鈴木澄男

平成19年度 学校評価結果

一学期末に、教育活動全般に関して、子ども達や保護者の皆様にアンケートをお願いいたしました。また、各教職員は日々の教育実践を振り返りながらの自己評価を行いました。

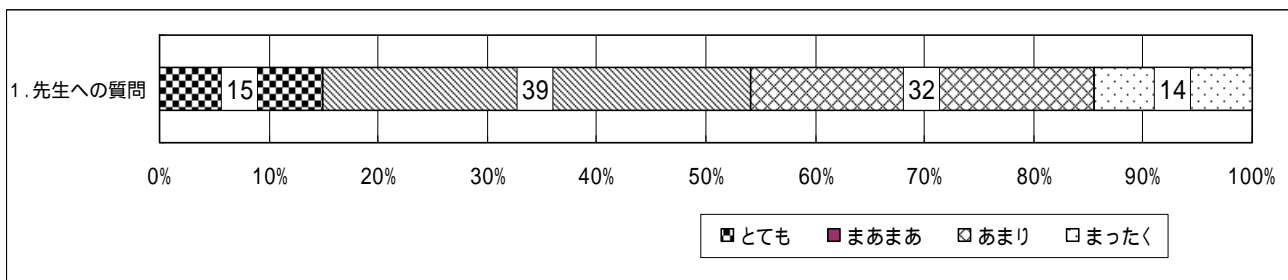
学習や生活面において、これまでの具体的な取組の成果が伺える一方、更に力を入れなければならないことやより一層の改善が求められるものも明らかになってきています。保護者の皆様には温かい励まし言葉もたくさん頂きました。また、ご提言やご要望、苦言も頂いています。

子ども達の健やかな成長の為に何をどのようにしていくのか、その方向性や具体的な取組を明らかにしていきます。そして、教職員一同、共通理解を図り、志を新たにしながら、二学期の教育活動に取り組んでいきたいと思っております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

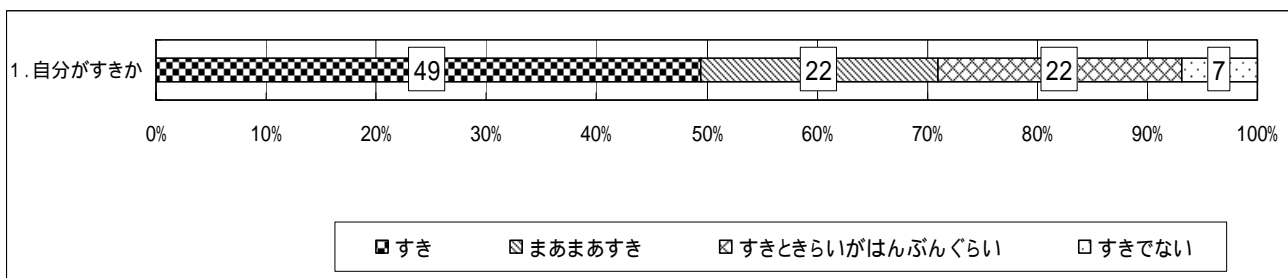
以下、各項目の集計結果と分析、今後の取組を示します。

【子どもたちの声】

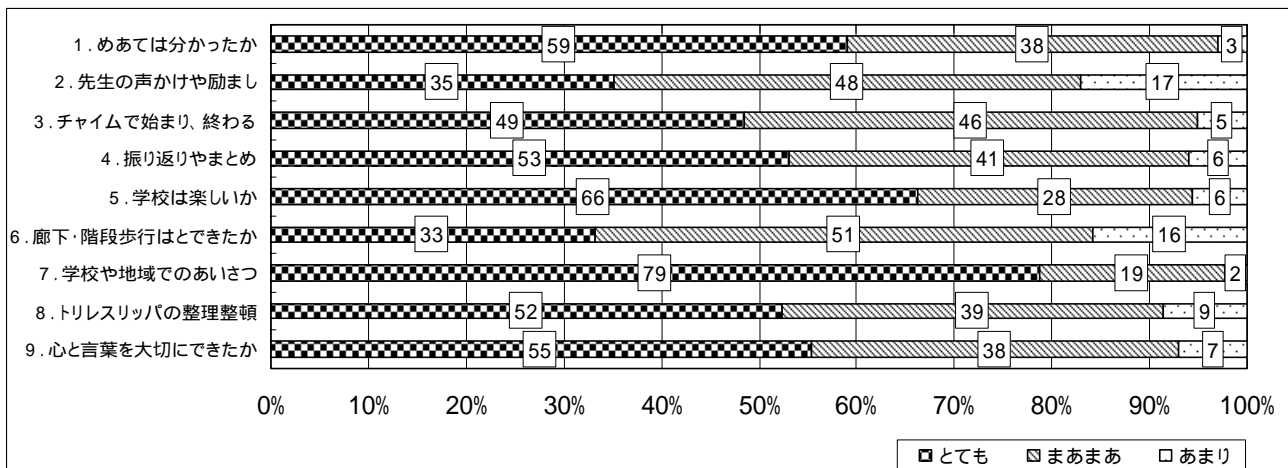
1. 授業で分からないことは、先生に質問しますか。



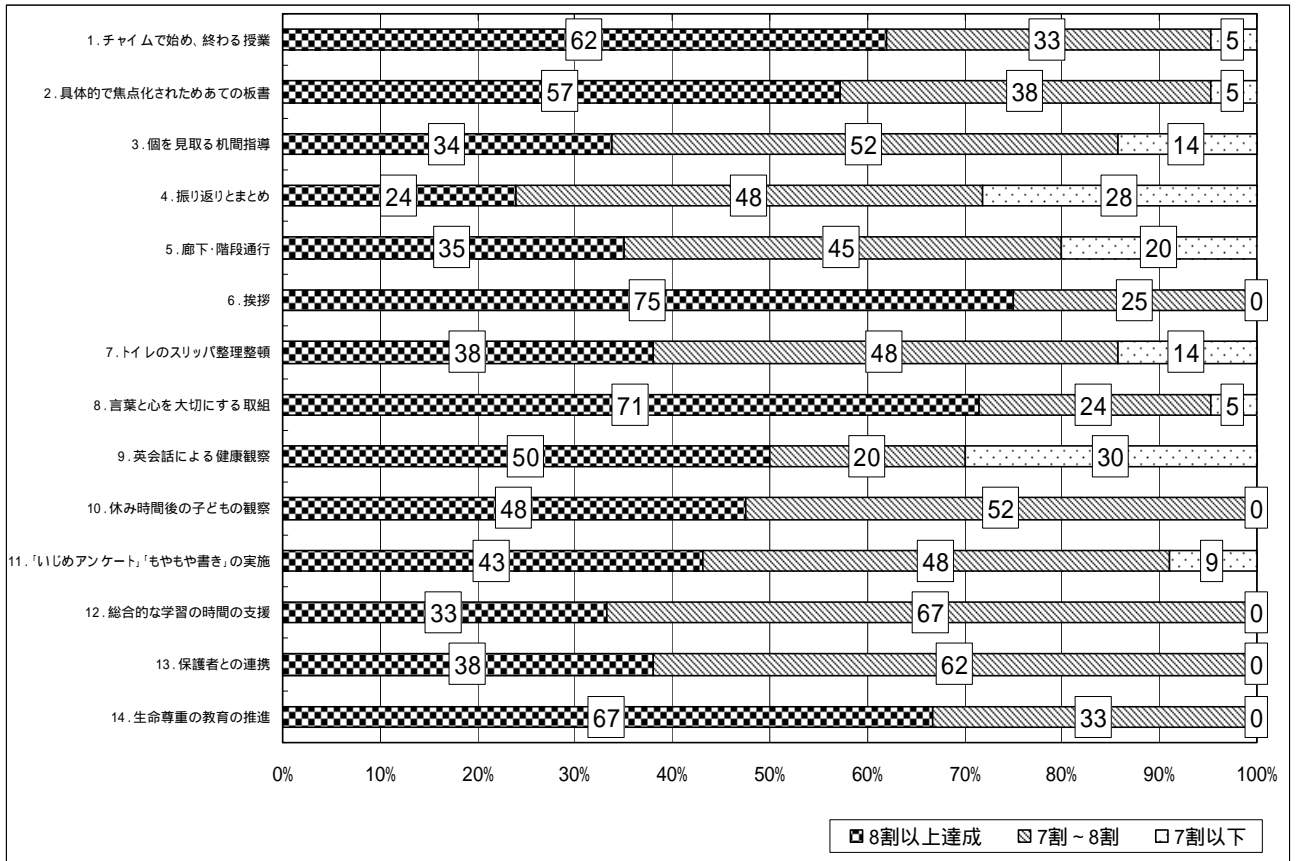
2. 自分が好きですか。



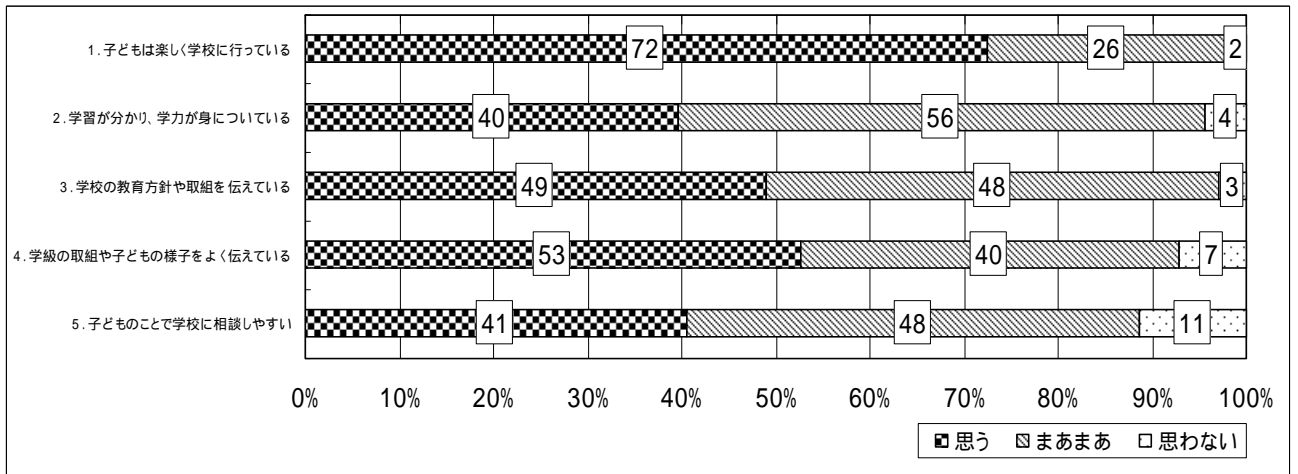
3. 学習・生活面で



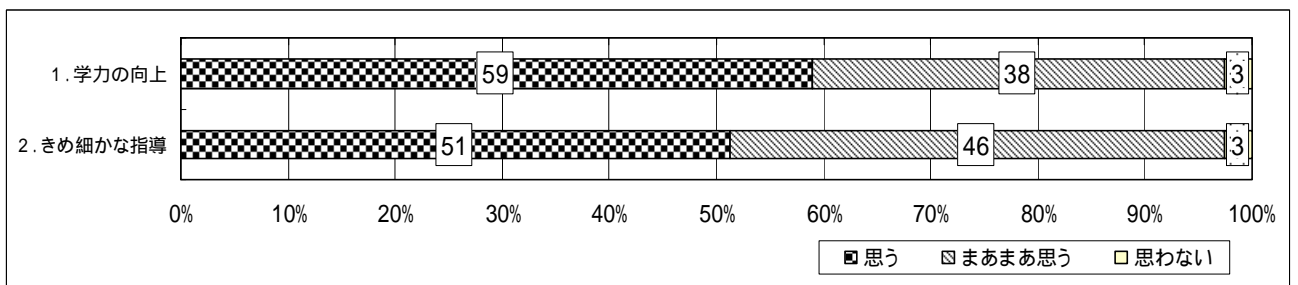
〔教師の自己評価〕



〔保護者の皆様の声〕



〔少人数指導についての保護者の皆様の声〕



先生への質問

授業で分からないことを先生に質問する子どもは、「とても」「まあまあ」を合わせて、54%、逆に、「全く質問しない」子どもが14%もいます。これは、本校の昨年度の結果とほぼ同じで、決して十分な結果だといえません。「分かっているから質問しない」という子どももいるでしょうが、やはり「何でも聞ける」「分からないから勉強する」という雰囲気大切にしながら、授業者のていねいで、温かい声かけを大切にしないとけません。そのためには、机間指導の充実を一層図り、がんばっている子、つまずいている子、全ての子どもに声かけをしていくようにします。

自分が好きか

「自分がとても好き」「まあまあ好き」を合わせると、71%という結果でした。逆に、「自分が好きでない」と答えた子どもは7パーセントいます。「自分が好きでない」と答えた子どもの大半は、友達のことや勉強・運動などで、自信を失っています。私たち大人がその子どものよさをしっかりとらえほめて、認めていく姿勢と実践が大切です。子どもは、ちょっとしたさりげない言葉かけや承認が喜びとなり自信となります。再度、私たち教職員もしっかりこのことを受け止め、日々、実践していきます。

青葉小学校授業の4つの基礎基本の徹底<指導・教師>

- ・ 1時間の学習のめあて
児童・・・「とてもよくわかった」「まあまあわかった」----- 97%
教師・・・「7割以上達成」----- 95%
- ・ 学習時間の始めと終わり（チャイムで始めてチャイムで終わる）
児童・・・「できた」「だいたいできた」----- 95%
教師・・・「7割以上達成」----- 95%
- ・ 机間指導による承認・支援
児童・・・「よくあった」「だいたいあった」----- 83%
教師・・・「7割以上達成」----- 86%
- ・ 学習のまとめと振り返り
児童・・・「できた」「だいたいできた」----- 94%
教師・・・「7割以上達成」----- 72%

本校では、「子どもが分かる、できる、充足感のある毎時間の授業の充実を図る。」ことを目指して「授業の4つの基礎基本」に取り組んでいます。

「1時間の学習のめあて」と「学習時間の始めと終わり」の子どもの自己評価(それぞれ97%・95%) 教師の自己評価(それぞれ95%)と100%に近く、基本的なところを大切にした実践がみられ、今後も充実させていきます。

「机間指導による承認・支援」は重点的に取り組んでいますが、まだまだ数値的にも80%台なので、今後100%をめざしてより一層の取り組みの充実を行っていく必要があります。子どものがんばりやつまずきへの声かけが一層やる気と充足感が得られる機会だと思えます。

「学習のまとめと振り返り」については、本年度から「学習のまとめ」もしっかりと行っていく事を確認して取り組んでいます。しかし、教師の自己評価において、達成率が低い傾向にあります。子どもに、それぞれの時間の内容確認をさせることを大切にすることから、今後、毎時間の「学習のまとめ」を確実に行うようにします。

授業の質的向上は、授業の4つの基礎基本を踏まえた日々の実践の積み重ねによって達成されていくものだと思います。教職員一同、以上のことについて、再度確認し合い2学期以降に向けて取り組んでいきます。

心を育てる四取組運動の推進<児童・教師>

・廊下、階段通行	
児童・・・「できた」「だいたいできた」-----	84%
教師・・・「7割以上」-----	80%
・挨拶	
児童・・・「できた」「だいたいできた」-----	98%
教師・・・「7割以上」-----	100%
・トイレのスリッパの整理整頓	
児童・・・「できた」「だいたいできた」-----	91%
教師・・・「7割以上」-----	86%
・言葉と心を大切にする	
児童・・・「できた」「だいたいできた」-----	93%
教師・・・「7割以上」-----	95%

四取組運動は、自己の心・生活のあり方を見つめさせる中で、基本的学校生活習慣の形成を図るとともに、命や友だちを大切にする心情を育てる目的で取り組んでいます。

「挨拶」については、昨年同様、教師も児童も一定の評価をしています。朝、校門でさわやかで元気な挨拶をする子どもがたくさんいます。「トイレのスリッパの整理整頓」は本年度1学期も教職員が範を示す意味で朝や放課後、休み時間等必ず整理整頓、点検を行ってきました。その結果、子どもの意識が向上している事がアンケートの結果から分かります。しかし、上靴の上からスリッパを履いたり、スリッパを使わなかったりする子どもも少なくない状況です。また、散乱している状態もあります。2学期からは、トイレにマットを敷き、裸足等で必要な児童だけスリッパを利用するようにしました。状況を見ていきます。

「廊下、階段の安全な通行」については、まだまだ不十分です。子どもの安全な学校生活を保障する意味からも、今後も繰り返し指導や、その場での指導をくり返し行っていきます。

「言葉と心を大切にする」取組みについては、昨年度から「生命尊重」の教育活動とともに、実践を重ねてきています。その結果、アンケート結果からも、かなり向上しているように思えます。しかし、現実には、まだまだ、人を傷つけるような言動も見られるのも事実です。その都度、ていねいで子どもたちの心にひびく指導を繰り返し行っていきます。

2学期からは、「トイレのスリッパの整理整頓」を除いた三取組運動になりますが、これらの運動を更に充実させるため、2学期からも全職員で日々の承認・指導支援を行っていききたいと思います。

楽しい学校<児童・保護者>

児童・・・「楽しい」「まあまあ楽しい」-----	94%
保護者・・・「楽しく行っている」「まあまあ楽しく行っている」---	98%

「学校は楽しいところ」と心から子どもにそう体感させること、保護者の方に安心してもらうことが、教師の使命だと思います。そのためには、「分かる授業」「安心・所属感のある学級づくり」に全力をつくしていかなければなりません。「分かる授業」については、「授業の4つの基礎基本」を中心に取組んでいきます。また「安心・所属感のある学級づくり」については、具体的な取組みとして、本年度も朝・中・昼・掃除後等の子どもの観察を確実にを行う。「いじめ無記名アンケート」や「もやもや書き」等の取組みを通して、確実に児童理解に取組み、指導・支援を行うようにしていきます。必要に応じて、保護者の皆様と連絡を取り合い、子どもの確かな育ちのために取り組んでいきます。

英会話体験学習の日常化・総合的な学習の時間の指導・支援(教師)

英会話体験学習の日常化・・・「7割以上達成」-----70%

総合的な学習の時間・・・「できた」「だいたいできた」-----100%

本校は「特色ある学校・特色ある教育」の取組みとして、平成9年度から「国際理解教育」を研究推進しています。そして推進の一環として、2年前から、朝の健康観察を学年の実態に応じて英会話で行う等、英会話体験学習の日常化に取り組んでいます。本年度は「8割以上達成」50%(昨年度43%)、「7割～8割達成」20%(昨年度14%)とおり、昨年度よりも向上しています。しかし、まだ、達成率が必ずしもよいとは言えません。2学期以降は、各担任が重点的に取り組んでいくようにします。

総合的な学習の時間では、児童の自主性・主体性を大切にするとともに、学習のねらいを明確にし、重点目標に沿った実践を行うことを本年度の目標にしました。アンケート結果からも「できた」「だいたいできた」が100%というように、確実な実践ができています。2学期からの学習でも、活動をより充実したものにしていくなために、教育的意義や具体的目標をしっかりと持たせて、取り組ませることを大切にしていきます。

保護者との連携・開かれた学校、学年、学級<保護者・教師>

<保護者>

子どものことで、学校にいろいろ相談しやすいか。

「そう思う」 41%

「まあまあ思う」48%

学校は、教育方針や取組みを学校新聞等でよく伝えているか。

「そう思う」 49%

「まあまあ思う」48%

学級の取組みや子どもの様子を懇談会や連絡帳、学級通信等でよく伝えているか。

「そう思う」 53%

「まあまあ思う」40%

<教師>

保護者との連携は連絡帳・電話・学級通信等を通じてとれているか。

「とれている」 38%

「およそとれている」62%

学校への相談については、「是非、相談して頂きたい」と、強く思っています。担任、校長、教頭等への電話でも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください。『学校は、子ども達のためにある』ということ常々大切にしたい学校運営や教育活動を展開していきたいと思えます。そして、皆様の声、相談については、誠実、ていねいに応えていきたいと思っています。また、学校新聞等で、月々の学校全体の取組みや各学年の主な取組み等も紹介していますが、限られた紙面で、決して十分ではありません。その点、各学年、各学級での通信も積極的に取り組んでいる教職員が増えています。

再度、皆様から応援され、支持される教育実践や広報活動に取り組んでいきます。

少人数指導<保護者>

少人数指導アンケートの結果、回答を頂いた保護者のうちの97%の保護者が、きめ細かな指導がなされ、学力の向上に結びついていると考えているようです。このことから、少人数指導の充実が着実になされていると思えます。「全体に目が届くのでよい」というお褒めの言葉も頂いています。しかし、せっかくの少人数指導の授業で、子どもの発言が少ないという意見もありました。『子ども一人一人が発言し、活躍し、承認される』ということも少人数指導の良さであります。各自、このことをしっかり踏まえて、2学期の指導にあたっていきます。

< 保護者の方のご要望やご意見について >

《感謝・承認・励まし》

思いやりの心を育むような温かい言葉がけを先生方にさせていただいていることが子どもの言動から伝わってきます。とても感謝しています。

いつもお世話になっております。先生たちが一生懸命、子どもたちや私たち保護者に対して取り組んでおられると思います。これからもよろしくお願いします。

いつも楽しく子どもが話してくれます。生き生きと、意欲的な子ども達を見せて頂き感謝しています。

高学年になり、生活面・学力面に多少不安がありましたが、素晴らしい先生に担任していただいて、学校生活が非常に充実しているようです。感謝しています。

いつもきめ細かに配慮していただき、感謝しております。子どもが元気に登校でき、充実した学校生活を送ることができるのは、日頃からの先生方のご指導のおかげだと思っております。ありがとうございます。

この他にも、お褒めの言葉や承認の言葉もたくさんいただきました。ありがとうございました。また、皆様から貴重なご意見ご要望もいただきました。以下、皆様からのご意見やご要望をふまえ、改善すべき点、努力をすべき点、見直しをすべき点等、できるだけ具体的にお応えし、取り組んでいきたいと思っています。

(1) 運動会や遠足、学校行事に関して

「運動会の日程」については、光化学スモッグ発令もあって、「秋に実施を」というご意見をいただきました。二学期には、6年生の修学旅行や若松区陸上記録会、5年生の自然教室、4年生の連合音楽会、全児童が出演する学習発表会、その他、社会見学に行く学年など、宿泊的行事や対外的な行事、文化的行事もあって、二学期の実施は極めて厳しい状況です。どうぞ、この点につきましてはご理解ください。

「運動会時における音楽などの放送設備が不十分で聞き取りにくい」とのご意見がありました。来年度は、第一運動場での運動会実施となりますが、万全の体制で臨みたいと思います。

立見席での脚立や日傘の使用など、安全面という点からPTAの皆様のご協力を得て、更に徹底していきます。

「種目内容など、毎年同じようなものでつまらない」と言うご意見もありましたが、体育学習の発表の場ということがありますので、ご理解ください。子ども達が一生懸命に演技し、がんばっている姿を是非、観ていただきたいと思えます。

遠足の場所について「毎年同じ芦屋で改善されなく残念」というご意見をいただきました。5月に行う歓迎遠足は入学したばかりの一年生の健康や体力、安全面も十分に考慮しないとイケません。また、歓迎集会の後に遠足をしていますので、どうしても場所が限られます。更に、それぞれの学年は社会見学や自然教室、修学旅行等があります。以上、遠足場所の変更は厳しい状況ですが、次年度に向け、遠足にふさわしい場所を検討してみます。

学校行事の主要行事については、PTA総会での年間計画、毎月の学校だより、学年通信等でお知らせしていますが、保護者の皆様には、年度当初、年間行事予定を配布いたします。

6年生の水泳大会は、区の大会が中止になった昨年度から実施しています。全員参加を原則としていますので、終業式の日を実施していますが、実施日については検討してみます。

(2) P T A活動・親子レクレーション等に関して

親子レクレーションについて日程、内容、時間帯、案内時期、実施の必要性等ご意見をいただきました。また、「参加できない状況下で子どもがさみしい思いをしないような配慮を」というご意見もありました。役員、委員の皆様にお伝えいたします。

「家庭教育学級の内容に魅力を感じない」というご意見がありました。是非、具体的な声を市民センターや委員さんにあげていただきたいと思います。

(3) 学習・学習参観や懇談会等に関して

水泳の時間や回数について「増やしてほしい」とのご意見いただきましたが、水泳学習も他教科と同じように授業時数は一学期の時間で確保されています。また、学年の授業や特別教室割、気象等との関係などで、続けて実施する場合があります。ご理解をお願いします。また、水泳の授業見学についても、いつでもご参観ください。他教科の授業も同様です。

日曜参観の意義や良さに関する意見がたくさんありました。また、「授業参観が多すぎる」というご意見もありましたが、できるだけ多くの方に子どもたちのがんばりを見て欲しいと思います。基本的には学期に一回です。「毎月10日は学校オープンの日」としている学校の紹介もありましたが、本市では、11月の初旬には、学校開放週間を設けています。それ以外の日もどうぞ学校にお出でいただいて授業参観をしてください。毎日、オープンにしています。

「兄弟がいて、懇談会の完全参加ができない。」「P T A総会や懇談会の出席率向上の工夫を」などの声がありました。懇談会開催時間をずらすのは難しいと思われるので、「通信等で是非、知らせて欲しい」という要望をしっかりと受け止めたいと思います。P T A総会や懇談会の出席率向上に向けて、なかなか大切な課題であり難しい課題でもあります。持ち方などを含め、検討していきます。また、資料の用意等工夫できるところを行っていきます。

「授業中の児童の返事等が不十分なところがある」というご指摘がありました。返事の大切さをあらためて、教職員しっかりと受け止め、二学期からの日々の指導を徹底していきます。

「家庭での音読の練習が良かった」や「平和に関する指導をしっかりと子どもなりに受け止めていた」等の声も寄せていただきました。

「分かる授業と同時に定着する授業もしっかり行って欲しい。(100マス計算も)反復練習不足ではないか」とのご意見をいただきました。反復練習やドリル学習をバランスよく行っていく必要を共通理解し、二学期に臨みます。

「6年生最後の授業でパソコン、家庭科、体育などの授業が見たい」「授業参観では日常の子どもたちの様子が見えるものに」などの声がありました。それぞれ、保護者の方や担任の思いがあるでしょうが、いずれにしても、子どもたちのがんばりが見えるものにしたいと思います。

参観時における保護者の私語など、マナーについてのご指摘がありました。どうぞ、がんばっている子どもたちの姿をしっかりと参観していただきたいと思います。

「学習については家庭と学校が協力することが必要で実践しているところです。」のご意見もいただきました。北九州学びチャレンジ宣言「家庭学習のススメ」の実践につきまして各ご家庭でよろしく願いいたします。

「6月の授業参観は少人数指導の様子だったが、担任の授業を見たかった」とのご意見をいただきましたが、学年早い時期でもあったのでご意見は分かります。今後に生かしたいと思います。

(4) 学級での指導や生徒指導について

「問題のある子どもは親に知らせるべき、クラス全体の親にも知らせるべき、クラスみんなが被害者になり、ストレスを持つ前に」とのご意見がありました。子ども達一人一人に関わること（いじめやトラブル、問題行動等）については、個々の保護者の方と確実に連絡・連携をとり、共通認識を持って指導支援を行うようにしています。「色々な課題や問題を抱えているのが子どもであり、だから教育がある」と思っています。子どもたちの人権を大切にしながら、学級全体の子どもたちの勉強や生活が困らないように、管理職も含め全力で対応し、指導支援を行っていきます。必要に応じて、臨時の学級懇談会を開催いたします。「もう少し、子ども達に厳しく指導していく中で体罰は必要である」というご意見もありましたが、「体罰は絶対にしない」という認識に立って「いけないことはいけない」と毅然とした指導、心に届く指導を行っていきます。

命の大切さ等については、日々の学習の中で指導を行っています。二学期そして、これからもあらゆる場面の中で子ども達の心に届く指導を繰り返し行っていきます。

「言葉遣いについてもっと徹底した指導を、先生も言葉遣いに注意を、家庭でも指導している」などの声もありました。「『ありがとうございます。ごめんなさい。』等の言葉を含め、言葉遣いにもっと敏感になり、教師としての言葉遣いにも気をつけ、指導を繰り返す必要を強く感じます。

相談等に関して「校長や管理職が信頼できない、自分のこととして受け止めて欲しい」とのご意見がありました。真摯に受け止め、二学期以降相談者の思いや願いを丁寧に受け止めていきます。

(5) 安全対策について

自転車の乗り方等についてのご意見が多くありました。学校では、若松警察署と連携し、安全教室を実施しております。また、交通事故、交通ルール等を指導する中で、自転車の乗り方についても日々指導しております。ヘルメット活用や自転車利用の学年制限は考えていませんが、家庭でも声かけ指導をお願いします。自転車教室については、利用実態を調査し、二学期の実施を前向きに検討したいと思っています。

下校時刻につきましては、各学年で下校時刻を合わせています。その徹底を再度図ります。個人的に遅く下校させる場合があるときは、家庭に連絡するようにしています。下校途中寄り道をしないよう子ども達には、常に指導をこれからも行います。また、通学、下校時間帯に地域の方、保護者の方の声かけを実施していただいています。ありがとうございます。現在、行政、警察、地域、学校、PTAとの連携のもと、通学路の総点検を実施し、改善すべき点は、改善していくよう計画を進めています。

避難訓練については、火災、地震、不審者侵入等を想定した訓練を学期に一回、二回実施しております。これからも、児童の安全確保を第一に実施していきます。

「着衣水泳指導を是非」「放課後、学校近くの会やクラブの紹介を」とのご意見がありました。着衣水泳については子ども達に体感させることは重要です。検討します。紹介については、学校としては限界があり、厳しいです。是非、必要なら学校や市民センター等に問い合わせてください。

「モンスターペアレントも確かだが、プロ意識の無い先生がいらっしやるのは残念」というご意見をいただきました。「子どもたちのために、日々の時間を精一杯」という姿勢と実践でしか、信頼は取り戻せません。全職員でしっかり受け止めます。

(6) 通信・連絡・情報発信等について

「学校新聞を見やすくする工夫を」というご意見がありました。二学期以降の課題として取り組みます。「担任の学級便りで学級の子どもの様子や取組がよく分かる」など、回数や内容についてたくさん評価していただきました。一方「もう少し、学級便りの発行回数を増やして欲しい」という声もありました。子どもの学級での様子や取組を随時知らせていくことの重要性を再度確認していきます。

「子どもの学級での様子が見えない、特にけんかや怪我など知らせて欲しい」などのご意見もありました。家庭訪問、電話連絡、連絡帳、学級便りで確実にお知らせしないとけません。全職員で再度、共通理解して実践していきます。

「2年生とはこんな子ども」の日曜参観日の資料、大変貴重なものでした。今後こんな資料を」とご意見がありました。学年通信等での工夫もできそうです。

「『給食献立表』など、上の学年の子どもに配布されているが、下の学年の子どもは『お手紙枚』とあって分かりやすい。下の子どもに配布を」とのご意見ですが、どの学年も『プリント枚』と連絡帳に書かせるようにします。「どうしてもということであれば」担任にご相談ください。

「一年生の時にカレンダー式の年間行事案内をもらって助かった。」のご意見ですが、年間行予定配布は4月当初、配布できるように取組みます。なお、行事は予定ですので、途中変更の場合もありますのでその際はお知らせいたします。

(7) その他

「体操服販売を早めに」とについては、業者と連絡を密にしながら販売時期の検討をすすめていきます。

「ボールが少ない。子ども達が遊べない」とについては、各学級に配布しているボールをお互いに譲り合いながら学級でルール等を決め使っています。運動場での子ども達の安全面を第一に考えながら増やすことができることが可能であれば増やしていきます。

子ども達が生き物を育てることは、生活科、理科等の学習を通じて進められています。数は少ないですが一生懸命に観察や世話をする中で、成長の喜びや収穫の喜びを通じて命の大切さ等も学んでいっています。これからも大切にしていきます。

「保護者の交流が少ない」とについては、それぞれのご家庭のご事情がありますが、PTAの保体委員会の行事等にもソフトボール、バレーボールなどのスポーツを通じての活動や親子レクレーション、学級懇談会等の場で交流を深めていただくことが大切です。積極的に参加をお願いします。

「授業の確保、土曜日の登校復活」とについては、今、論議がなされている段階にあります。学校現場の状況等についても教育委員会等にあげています。学校独自で行うことはできませんが、日々の授業を大事にしていきます。

「相談事がしやすくしてほしい」ということについては、謙虚に受け止め一人でも多くの子どもや保護者の皆様が学校に相談できるような学校にしていきます。

「夏休みの登校日について」「平和に関する指導実施週間」等についての趣旨が伝わっていないというご意見については、保護者の皆様に機会をとらえお知らせいたします。

「懇談会や研修会など定時まで学校に子どもが残れるように」というご意見ですが、その時の状況により、見守り人員など厳しい状況があります。

環境整備、校舎内外の清掃等について、ご意見をいただきました。きれいな教育環境、落ち着いた環境づくりに子ども達と共に取り組んでいきます。

「下足センター横に掲示してある世界の時計は、分は同じです。子どもたちが誤った認識を持つ」のご意見がありました。早速対処いたします。

【 学校評議員の方より 】

「担任は、同学年を含め、他学年の子どもの名前を覚え、個々の子どもに多くの職員が係わる雰囲気大切にしたい」というご意見をいただきました。子どもは、担任外の先生から名前を呼ばれ、語りかけられるとうれしいものです。そんな様子が自然にあちこちで見受けられると学校全体が温かい雰囲気になります。是非、全職員で共通理解を図り、実践していきたいと思えます

以上、貴重なご意見ご希望、励ましのお言葉ありがとうございました。子ども達の育ちのために、二学期以降がんばっていきます。